

みやもと陸政策提言 Ver. 3 消滅可能性都市から挑戦可能性都市へ 評価報告（最終）

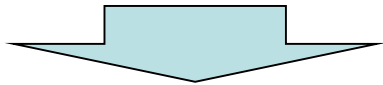
宮元陸・加賀市長公約評価委員会
牧瀬 稔

makise@kanto-gakuin.ac.jp

<https://www.makise.biz>

本日の内容

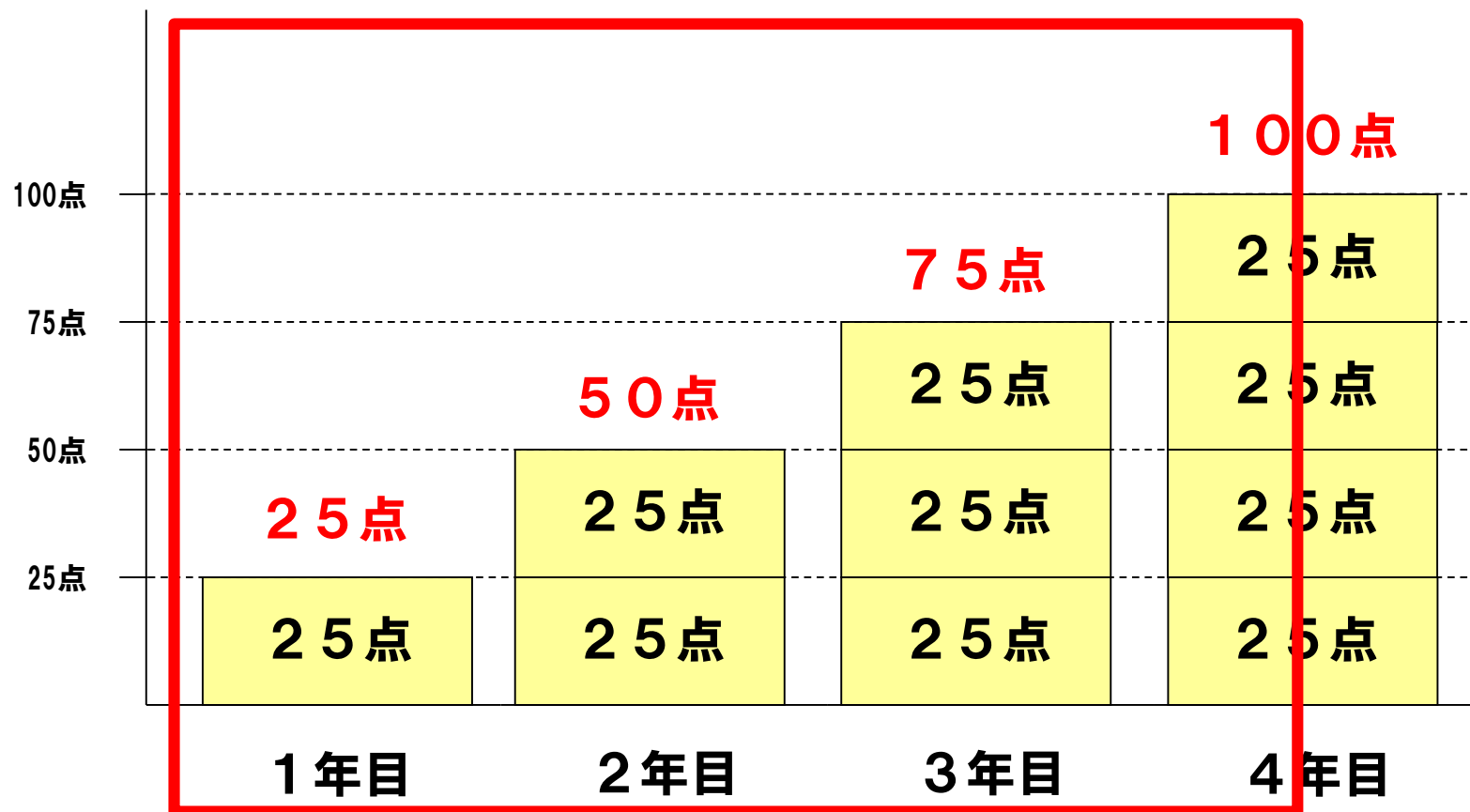
- ① 評価方針
- ② 評価基準
- ③ 評価結果
- ④ おわりに



上記の4点から、宮元陸・加賀市長の公約の達成状況を評価する。

結論

合格点の一視点



※今回は2021年11月～2025年6月までが評価の対象期間となる。

評価結果（有識者）

●合計点

77点

／90点

●達成率

85.6%

／100%

【参考】前回中間評価は75.7%

2021年11月～2025年6月までが評価の対象期間となる。

100点満点で85.6点であり、評価結果としては
「**優れた成果**」と判断される

1 評価方針

(1) 評価対象

- 宮元陸・加賀市長の公約には「4つのビジョンと18の施策を掲げ」と明記している。
- 今回は18施策を評価対象とした(18施策 × 5点 = 90点満点)。
- これらの施策(公約)を評価するために「宮元陸・加賀市長公約評価委員会」を組織した。
- 各施策の「点数」と「達成率」を評価結果とした。
- 達成率を「100点満点で何点か」と捉えてよい。

評価方針

(1) 評価対象

- 評価対象は「みやもと陸 政策提言 Ver.3」に掲げられている18施策である。



1 評価方針

(2) 評価の進め方

- ① 加賀市から、公約に掲げられた18施策について、2021年11月～2025年6月までの進捗状況の資料を作成いただいた。その資料を評価資料として活用した(3年8か月が評価期間となる)。
- ② ①の評価資料に加え、各評価者が、適宜、加賀市のホームページ等から資料を入手し、評価のための補足資料とした。
- ③ 各評価者が評価結果をだしたあと、合議により、最終的な評価を決定した。

1 評価方針

(3) 評価方法

- 宮元陸・加賀市長公約評価委員会を組織し、18施策について、各評価者(4名)が個別に評価を行なった。
- その後、合議により最終的な評価結果を決定した。
- 各評価者は各事業について5点満点で採点するとともに、評価結果の理由を明示した。
- 参考として大学生(牧瀬ゼミナール)による評価も実施している。
- 大学生は、一人当たり3～4施策を評価している(ゼミナール生は19名)。

みやもと陸政策提言Ver.3評価体制

宮元 陸・加賀市長

①評価依頼

②評価結果

【評価委員会】

【有識者評価】

- ・ **大久保武**
愛媛大学大学院地域レジリエンス学環
准教授
- ・ **須永由美子**
オフィスアンダンテ合同会社代表
元株式会社山野楽器執行役員広報宣伝部長
- ・ **高橋恒夫**
社会構想大学院大学先端教育研究所
特任准教授
- ・ **牧瀬稔**
関東学院大学法学部教授

【大学生評価】

- ・ 関東学院大学牧瀬稔ゼミナール
19名（3年生）

過去、他首長等の公約を評価した者を有識者として選定している。
牧瀬ゼミナールの所属学生も、過去、他の首長等の公約を評価している。

2 評価基準

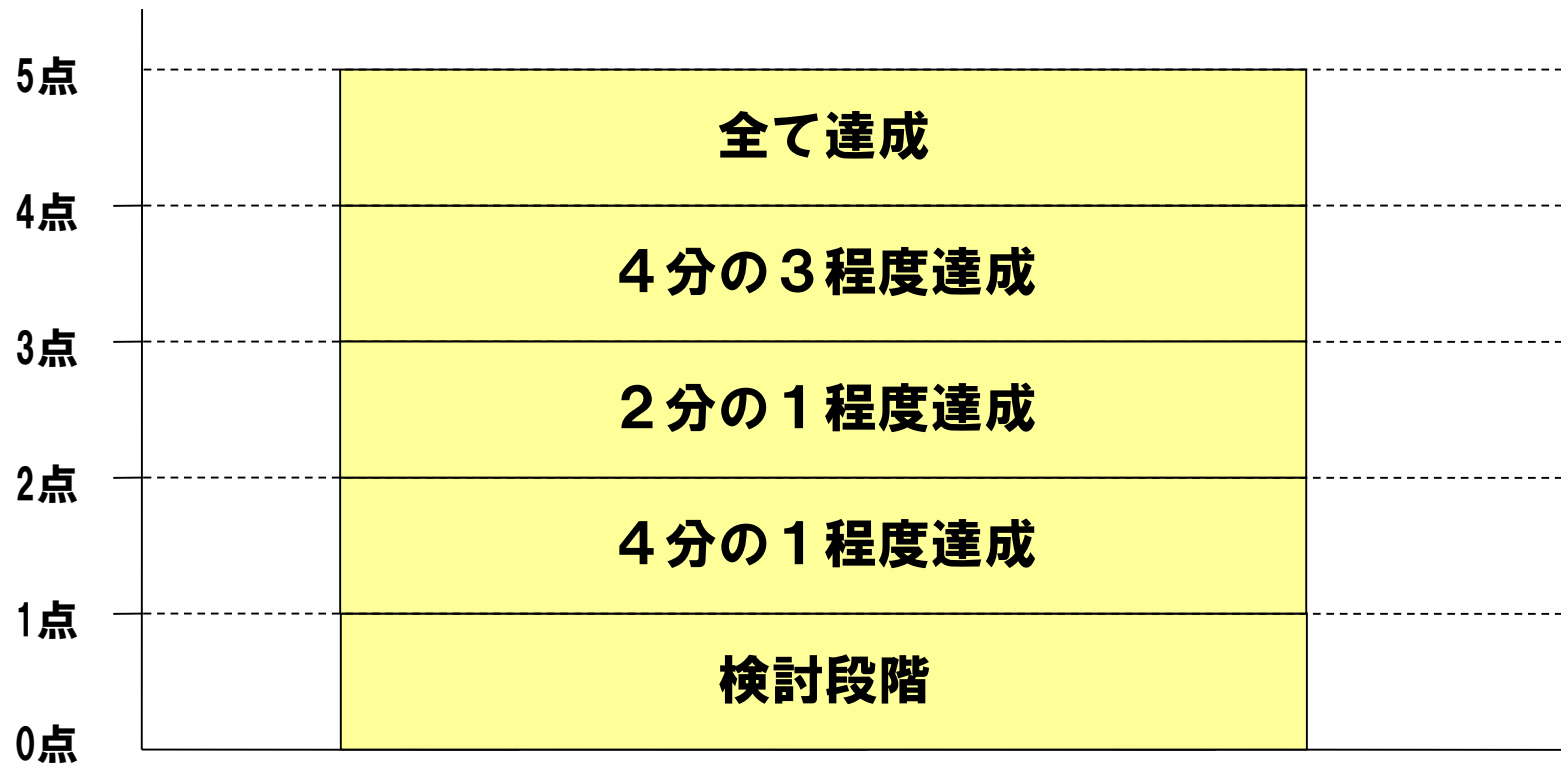
- 公約に掲げられた各施策の評価基準は、下表のとおりである。
- 下表の評価基準を用いて、首長マニフェスト等評価しているため、他首長の評価結果と比較できるという利点がある。

評点	基 準
0点	施策・事業に着手していない段階、かつ予算等の措置を講じていない段階
1点	具体的に検討中(例:検討会議の開催)、または予算の目途が立った段階
2点	施策・事業に着手済～4分の1程度を達成したと判断される段階
3点	施策・事業について、2分の1程度を達成したと判断される段階
4点	施策・事業について、4分の3程度を達成したと判断される段階
5点	施策・事業をほぼ達成したと判断される段階

2 評価基準

評価基準

＜各事業の評価基準のイメージ＞



3 評価結果

【Vision.1】世界に通用する人財を育成し、
先端技術に適応できる企業が集積するまち

ビジョン1	1	1	①	世界のクリエイターたちが集うクリエイターハブの形成	THU JAPAN 開催支援事業					
	2	1	②	若者が集まるデジタル大学の開設	デジタルカレッジKAGA推進事業					
	3	1	③	世界に羽ばたき活躍する若者の育成	STEAM教育推進事業					
	4				高校魅力化事業					
	5	1	④	e-加賀市民制度によるスタートアップ企業の集積	多拠点居住による新たな地方創生事業					
	6	1	⑤	若者を魅了する次世代スマート農業の促進	- スマート農業導入支援事業 (R3~R4) - ルビーロマン生産性向上事業 (R4)					

3 評価結果

【Vision.2】人々の生活に“ワクワク感”が満ちる未来型生活都市

ビジョン2	7	2	①	感性と体感で楽しむ未来型ショッピングゾーンを創造	未来型商業エリア推進事業					
	8	2	②	最適移動サービスを利用できるまちづくり	地域交通対策（KAGAあんしんネット）事業					
	9				MaaS推進事業					
	10	2	③	空の物流・移動革命の実現	エアモビリティ等活用事業					
	11	2	④	世界から人財を呼びこむインテリジェント住宅エリアを整備	若者が定着する、移住者が増えるまちづくり					
	12	2	⑤	体に優しい食や個性を大切に する子育て・教育に関心のある 方への住宅エリアを実現	＜再掲＞ 若者が定着する、移住者が増えるまちづくり					
	13	2	⑥	RE100で地域内循環と地産地消のエネルギータウンを実現	加賀市版RE100推進事業					

3 評価結果

【Vision.3】自然・歴史・文化とテクノロジーが織りなす温泉共創地

ビジョン3	14	3	①	温泉医療ツーリズムでインバウンドの促進	医療・介護等人財育成と医療・健康ツーリズムによる健康シティの実現 ・医療・健康ツーリズム ・医療・介護人材育成					
	15	3	②	歴史・文化とスマートシティを体験できる体験観光の推進	北前船日本遺産推進事業 加賀大聖寺藩十萬石文化再生事業					
	16				観光業界におけるDXの充実					
	17	3	③	北陸新幹線加賀温泉駅開業を見据えた魅力的な温泉地づくり	柴山湯遊歩観光ルートプロジェクト事業 ・湖岸遊歩道整備 ・柴山湯周辺土地整備					
	18				加賀温泉駅周辺施設整備事業					

3 評価結果

【Vision.4】先端技術を活用して 全世代に元気と福祉をとどけるまち

ビジョン4	19	4	①	情報銀行の導入による一人ひとりの医療健康情報に基づく最適な医療サービスの提供	デジタル田園健康特区推進事業					
	20				電子カルテシステム更新に伴うスマートホスピタル推進事業 ・医療版情報銀行 ・PHR（パーソナルヘルスレコード）					
	21	4	②	先端テクノロジーを活用したWell-Beingなまちづくり	カード交付事業					
	22				加賀市版スマートバス構想事業 ・生体パスポートを活用した手ぶらサービス事業（にこにこパーク顔認証）					
	23				睡眠教育事業（ねんねナビ）					
	24				かよいの場アプリによる介護予防事業					
	25				KAGA健康健歩プロジェクト（クッピーヘルスケア）					
	26				スマートインクルージョン推進事業 ・ALSピーカー購入助成事業 ・テレワーク推進事業					
	27	4	③	全国トップクラスの子育て支援	かがっこ応援プロジェクト					
	28	4	④	電子投票と市役所へお出かけ無用の行政サービスの実現	デジタル自治体プラットフォーム事業					

3 評価結果

Vision	得点	点数	達成率
【Vision.1】世界に通用する人財を育成し、 先端技術に適応できる企業が集積するまち	23.8	25	95.0%
【Vision.2】人々の生活に“ワクワク感”が満ちる 未来型生活都市	23.3	30	77.5%
【Vision.3】自然・歴史・文化とテクノロジーが 織りなす温泉共創地	11.8	15	78.3%
【Vision.4】先端技術を活用して全世代に 元気と福祉をとどけるまち	18.3	20	91.3%
得点／達成率	77.0	90	85.6%

評価結果（有識者）

●合計点

77点 / 90点

●達成率

85.6% / 100% 【参考】前回中間評価は75.7%

2021年11月～2025年6月までが評価の対象期間となる。

100点満点で85.6点であり、評価結果としては
「**優れた成果**」と判断される

大学の成績評価に当てはめると・・・

A

点数	評価		コメント
100～90点	S	秀	特に優れた成果を残した公約（マニフェスト）
89～80点	A	優	優れた成果を残した公約（マニフェスト）
79～70点	B	良	妥当と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
69～60点	C	可	合格と認められる成果を残した公約（マニフェスト）
59点以下	D	不可	合格と認められる成果を残していない公約（マニフェスト）
未評価	F	未評価	公約（マニフェスト）を実施したには値しない

大学の成績評価に当てはめると・・・

- 大学の成績評価に換算すると「A評価」である。よい結果となっている。
- 残りの任期はわずかしかないが、少しでも達成度合いを高め、S評価を目指してほしい。

有識者評価のまとめ

- 85.6% (A評価) であり、達成度合いとしては悪くはない (評価としては合格点である)。
- 全体的に悪くはないが「感性と体感で楽しむ未来型ショッピングゾーンを創造」は2.75点、「世界から人財を呼びこむインテリジェント住宅エリアを整備」は3.25点、「温泉医療ツーリズムでインバウンドの促進」は3.25点など、最終評価として、あまりよくない数字があった。
- 出来なかったことを問題視するのではなく (犯人捜しするのではなく) 「できなかった理由」を明確にし、次の施策に反映させてほしい。

おわりに

- 評価結果は、100点満点で85.6点となった。合格点である。
- 今回のマニフェストは、2021年11月～2025年6月までを評価対象としているが、同期間は新型コロナウイルス感染症（2020年1月～2023年4月）と令和6年能登半島地震（2024年1月1日）と重なっている。
- マニフェストに記載の施策を実施するにも、様々な制約があったと推測される。
- そのような中で、ある程度の成果を導出している点は評価される。

おわりに

- 今回はアウトプット（施策に掲げられた内容を実施したか否か）の観点で評価している。アウトカム（施策を実施した結果、どんな成果が得られたか）という視点ではない。
- アウトカムを高めていくことが、今後の課題である（加賀市に限らず、他の首長公約に共通の課題である）。
- ウェルビーイングという言葉が注目を集めている。住民の幸福実感（主観評価）を高める公約提示や施策展開にも取り組んでほしい。

【参考】大学生評価

【参考】評価結果（大学生）

●合計点

60.9点 / 90点

●達成率

70.7% / 100% 【参考】前回中間評価は67.5%

2021年11月～2025年6月までが評価の対象期間となる。

100点満点で70.7点であり、評価としては
「及第点」と判断される

ありがとうございました。

ご意見・ご質問などは、
makise@kanto-gakuin.ac.jp にご連絡下さい。

